

青山町における取り組み経過

	開催日	参加人数	内 容
第1回女性のつどい	1995年1月28日 (H7)	200名	講演「一歩ふみだすために」 講師 若尾典子(中京法律専門学校) 昼食 町の農産物を使って40種類の創作料理をバイキングで エアロビクス 宮脇清美 ゲーム
第2回女性のつどい	1996年1月27日 (H8)	200名	講演「今を生きる」 講師 宮本光順(関地蔵院住職) 昼食 手作りのオードブルで 太極拳 木村麗霞
第3回女性のつどい	1997年1月27日 (H9)	200名	講演「海に学んだ私の宝物」 講師 弓場通義(元さくら丸船長) 昼食 郷土料理のみなおし、参加者は食器を持参する。 3Bらくらく体操 瀬井律子
第4回女性のつどい	1998年1月18日 (H10)	180名	オープニング 澤実香、澤知香姉妹によるデュエット 講演「女らしさ 男らしさにとられすぎていませんか」 講師 畑律江(毎日新聞記者) 昼食 郷土料理のみなおし、参加者は食器を持参する。 実行委員により、アンケート調査(女らしさ男らしさにと られていないか)を実施し、その結果をまとめたものを もとにグループ別の話合いを行う。
第5回女性のつどい	1999年1月24日 (H11)	180名	オープニング 実行委員による寸劇「青山さんちの一日」 男女の家庭での役割分担について問題提起。 講演「知って得、知らずに損する身近な法律」 講師 家崎宏(中京大学教授)
第6回けやきのつどい	2000年1月23日 (H12)	180名	オープニング 実行委員による寸劇「イヤやったらやめたらええやんか」 (会社や飲み屋での日常風景のなかで問題提起) 講演「地域社会における男女の役割分担」 講師 土川禮子 (日本女性会議2000津実行委員長)
第7回けやきのつどい	2001年3月18日 (H13)	200名	オープニング 実行委員による寸劇 「.....かもしれない談議」 (会社や飲み屋での日常風景のなかで問題提起) 講演「男女共同参画社会に向って」 講師 小林かよ (県生活部生活課男女共同参画室長)
第8回けやきのつどい	2002年2月24日 (H14)	150名	講演「みんなで取り組むまちづくり アメリカ・カリフォルニア州の小さな町と青山町」 講師 伊勢村紀久子 提言発表 1 子育てグループ 2 介護グループ 3 地域社会グループ フリートーク、提言署名・集計・まとめ
第9回けやきのつどい	2003年1月26日 (H15)	50名	1部 第8回つどいの提言追跡報告会 2部 ワークショップ あなたのアンテナは高い?低い? 生ゴミのコンポストを通じて DVについて考えよう 地元産物で特産品づくり「比々岐ファーム」 子どもの自然体験「はじっこクラブ」
第10回けやきのつどい	2003年9月28日 (H15)	60名	講演「食をとおして見えるもの」 総合的な学習の時間 給食を作ろう大作戦の実践から 講師 東佐都子 食の文化祭 家庭料理代集合 ～食を通じて男と女のつながりを大切に～ 家庭料理10数品、地産地消費パネルの展示

県との共催事業

	開催期間	受講人数	
1996年度 アイリス21推進地域 (H8)	平成8年11月29日から 平成9年1月30日まで 4日間	39名	男女平等と共同参画を進めるため、一人ひとりの意識改革と女性問題解決への地域活動を促進するための県事業である。 内容 (1) アサーティブネス・トレーニング(自己開発学習) (2) 女性センター見学 (3) 公開講座 第3回女性のつどい (4) グループ討議 女性問題について
自立をめざす女性のためのセミナー 98 (H10)	平成10年7月16日から 平成10年8月1日まで 3日間	34名	自立して社会的責任を果たせる女性になるため自分みがきをする。(社会の問題に気づき解決に向け考え行動する人になる。) 内容 (1) 自己表現学習(パフォーマンス) (2) 報告会と話し合い ・女性の視点で環境について考える(ドイツの実践に学ぶ) ・身近な生活の中での「男だから」「女のくせに」を検証する。